

平成29年  
7月21日発行  
No.93

# ろくのへ 議会だより

■編集／六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60

TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112

ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

Eメール [gikai@town.rokunohe.aomori.jp](mailto:gikai@town.rokunohe.aomori.jp)



おおきくなあ〜ね!!

(6月8日、さつきファームにて)

町内の若手農業者による食育+食農のチャレンジ企画である「ちびっこベジタランド さつきファーム」が始まりました。

さつき保育園と、こども園えがおのちびっこたち51人が集まり、さつまいもの植え付けとマリーゴールドとひまわりの種をまきました。

さつまいもの実る秋が楽しみです！

## 【第2回定例会】

大曲小の利便化進む……………2

## 【一般質問】

福祉施策など1人の質問……………5

## 【常任委員会レポート】

先進地を視察……………6

## 【高校再編】

六戸高校存続を求める要望書、提出……………8

## 【議員全員協議会】

町側との話し合い、あれこれ……………9

# 大曲小の利便化進む

第2回定例会が6月22日から6日まで開かれました。町長から提出された案件は、29年度補正予算、専決処分や条例案件など23件が審議され、全会一致で承認・可決しました。

一般質問には1議員が登壇。福祉施策など町の考えを問いました。主な内容は次のとおりです。

## 補正予算

### ◇ 一般会計4294万円を増額

平成29年度一般会計補正予算では、歳入歳出に4294万円を増額し、総額54億4294万円となりました。主な事業をお知らせします。

### ◇ 2町内会を支援(479万円)

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に対するの助成です。今年は、南町(二)、大曲町内会が該当します。

### ◇ 大曲小学校の用地拡大(2774万円)

教職員や学校行事で利用する保護者の駐車場や、学校に必要な多面的な学校活動用地として整備する予定です。(詳しくは9ページ参照)

### ◇ 町指定文化財「久之助のイチイ」の治療(46万円)

岡沼地区の町指定文化財の幹と折れた枝の治療に使われます。

## 財産取得

- ◇ 小型動力ポンプ付積載車(町消防団第4分団：小平・柳町、鶴喰)の防災、予防活動のために1台購入します。
  - ・ 契約先 有限会社丸栄消費機
  - ・ 金額 1544万円
- ◇ 小・中学校授業用パソコン購入
  - ・ 町内の小・中学校に授業で使うパソコン156台を購入します。
  - ・ 契約先 有限会社 システム・デー
  - ・ 金額 2052万円



久之助のイチイ…樹齢500年以上で高さ10m以上の巨木

## 人事案件

### ◇ 教育長

瀧口孝之氏の教育長任期について同意しました。任期は平成29年7月1日から平成32年6月30日までの3年です。



▼瀧口 孝之氏

## 審議内容

### ◇ 町民バス事故の被害児童のケア

問 山本 実 議員

昨年9月に発生した町民バス事故で、被害児童の心のケアはどう対応しているか。

また、けがをした児童が後日、後遺症が出たとの申し出があった場合の町の対応は

答 櫻田教育長

県からスクールカウンセラーを派遣してもらい、

希望する児童にカウンセリングを実施し、その後、学校で見守っています。

現在、児童の心の不安やさまざまな行動は出ていないと報告を受けています。

答 円子企画財政課長

後遺症が出た場合、町としては申し出があれば、加入先の保険会社と相談し、対応いたします。

### ◇ 六戸霊園のPR

問 山本 実 議員

小松ヶ丘地区の霊園の

整備区画数と、現在、永代使用されている区画はどのくらいか。

また、永代使用の募集について何度も聞いているが積極性が見られない。もっと本腰を入れてほしい

答 川原町民課長

整備済みの区画が114区画、現在永代使用権を許可している区画が34区画あります。

今後のPR活動は、運営協議会をこれから立ち上げ、検討していく予定です。また、今年度はパ

ンフレットを新たに作り、小松ヶ丘地区及び墓石店等で周知を図ります。

### ◇ 町診療所の患者数

問 山本 実 議員

病院から診療所へ移行し、利用される外来患者の増減はどうか

答 吉田診療所事務長

27年度10月から3月までの分と、昨年の診療所以降を比較し、644名の減となっています。

### ◇ スクールバス待合所

問 河野 豊 議員

小松ヶ丘地区のスクールバスの待合所だが、バスが停留する場所も屋根もない。バスターミナルを設置してはどうか

答 吉田町長

各小学校に通学のスクールバスがあるので、差が出るような形はできないので、その点を配慮を含めて、検討させていただきます。

## 専決処分

### 減額補正を承認

平成28年度一般会計補正予算の専決処分が提案され、全員賛成で承認しました。4826万円の減額補正となり、歳入歳出の総額は59億2622万円となりました。

補正額の内訳は、事業費の確定によるものです。

### バス事故の損害賠償額を報告

平成28年9月29日に町民バスが自家用車と衝突し、車両を損傷させた事故の示談が成立し、7万2240円の賠償をしたことの報告がありました。この賠償額は、全国町村会総合賠償補償保険で全額支払われています。

※専決処分とは…

議会の議決を必要とする事項について、町長が議会に代わって町長の権限で処理できることです。

## 繰越明許

### 5事業を繰り越し

平成28年度の事業で、年度内に事業の支出が終わらなかったものについて、町から報告がありました。下表の5事業で総額9479万円を繰り越し、29年度に行われます。

### 28年度から繰り越した事業

(万円)

事業名	金額	繰越額
個人番号カード交付事業	82	82
臨時福祉給付金(経済対策分)事業	3148	3148
大曲小学校なかよし会学童保育所増築事業	2489	2489
小松ヶ丘地区汚水処理計画検討事業	320	320
学校施設環境改善事業	3440	3440
計	9479	9479

# 審議した議案と各議員の



- ・賛成が○、反対は×と表示しています。
- ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
- ・円子徳通議長は裁決には加わりません。

議案番号	議案名	長根一男	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	議決日
報告2号	専決処分の報告損害賠償の額の決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	6月6日
報告3号	平成28年度六戸町繰越明許費繰越計算書	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
承認1号	専決処分の承認 六戸町税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認2号	専決処分の承認 六戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認3号	専決処分の承認 六戸町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認4号	専決処分の承認 六戸町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認5号	専決処分の承認 平成28年度六戸町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認6号	専決処分の承認 平成28年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認7号	専決処分の承認 平成28年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認8号	専決処分の承認 平成28年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認9号	専決処分の承認 平成28年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認10号	専決処分の承認 平成28年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認11号	専決処分の承認 平成28年度六戸町壺園事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認12号	専決処分の承認 平成28年度六戸町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案31号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案32号	六戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案33号	六戸町介護保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案34号	平成29年度六戸町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案35号	財産の取得(小型動力ポンプ付積載車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案36号	財産の取得(小・中学校授業用パソコン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意	
同意16号	六戸町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		



こうさか しげる  
高坂 茂 議員

# 当町の福祉施策の実態は

人間らしく生きる社会を目指す — 町長

**問** 施策のなかで、障害者計画と障害者福祉計画の意図と違いは

**福祉課長** 障害者計画は、障害者基本法に基づいた六戸町の7年計画で、障害者福祉計画は、障害者総合支援法に基づく生活支援のサービスにかかわる3年間の実施計画です。

**問** 障がいについての区分と実態は

**福祉課長** 平成28年度末で、身体障害者手帳所持者は438人、愛護手帳所持者は97人、精神障害者保健福祉手帳所持者は76人です。身体障がい者数は減少傾向で、あとの障がい者数は

**問** 知的障がい者の就労状況は

**福祉課長** 1歳6か月、3歳時の健診は実施していますが、5歳児健診は実施していない状況です。今年度は実施を検討しています。

**問** 発達障がいの見極めにおける就学前の健康診査についての実施は

**福祉課長** 10月実施したアンケート調査によれば、約3割が給与をいただけの仕事をしています。なお、約3割の方が今後就労したいと回答しています。

は横ばい傾向です。

案し保険料を決めます。サービスの利用に応じた費用を負担し、財源は保険料が50%、公費が50%の割合です。

**問** 要支援1・2のサービスは平成29年度より、各市町村の事業に移行となりましたが、当町の取り組みは

**福祉課長** 従来のサービスのほかに、町独自の訪問サービスや\*ミニデイサービスを創設していきます。

**問** 認知症の対応状況は

**福祉課長** 要介護認定で、平成28年4月時点での数は、日常生活に支障をきたす症状の高齢者は、464人(14.6%)です。事業としては、「お出かけ教室」「認知症サポート養成講座」「もの忘れ検診」といったものを実施しています。

## 六戸高校存続の考えは

当町に必要不可欠な存在だ — 町長

**問** 国の地方創生の観点からも地域の高校を統合する考えは、唐突であり、ますます地方の衰退に拍車がかかる

**町長** 主旨は生徒の激減を受けての県教育委員会の再編計画ですが、具体的な対応としては、高校PTA、後援会、地域の方々、それから議会とも協議しながら対応していきたい。

**問** 観点から説明し、地域社会を納得させることが必要です。

子どもたちの将来展望をきちっと説明し、地域社会を納得させることが必要です。地域事情はすべて違います。よって、統合を急がずワンクッションおいてもいいから、説明理解を得ることが一番です。

総論賛成、各論反対、これが現実なところでしょう。各論に入ったとき、まず地域の理解を得ること、

子どもたちの将来展望をきちっと説明し、地域社会を納得させることが必要です。地域事情はすべて違います。よって、統合を急がずワンクッションおいてもいいから、説明理解を得ることが一番です。



六戸高校

\*ミニデイサービスとは…通所型サービス事業所において、食事・入浴等の生活支援や運動を行うもので、送迎時間を含み4時間程度のサービスを受ける町主体の事業のこと

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することを行います。その内容を要約してお知らせします。

# 給食無料化に取り組む自治体を視察

総務常任委員会

北海道三笠市・札幌市

7月11日～12日

総務常任委員会では、次代を担う子供たちのために、給食の無料化と小中一貫校の取り組みと、若者支援総合センターを視察・研修しました。委員の報告を掲載します。

委員長 河野 豊 議員

三笠市の給食の無料化については、子育て世代の負担を軽減し市内への定住を促すための施策の一貫として実施。次に、小中一貫校の取り組みについては、炭鉱の町として栄えた三笠市が、急激な人口減少を迎え、将来のあるべき姿を模索する中で、教育に力を入れる方針のもと、教育の地方分権で小中一貫校の特区申請が認められた。

9年間の教育の中で世界に通用する人材（国際科）、ふるさとに誇りをもつ人材（地域科）、特色ある授業（選択学習科）など、生き残りをかけた事業を展開していた。

さらには、「道立」三笠高校を「市立」三笠高校にし、科目は食物調理科のみ。寮完備し、受験倍率は1・5倍。この事業で市職員の真剣な取り組みが素晴らしいと感じた。

副委員長 杉山 茂夫 議員

三笠市は、夕張市の隣の炭鉱町だった。かつて6万人超の人口が9千人まで減少し、職員の半減等に対応した。

一方、小泉内閣の特区で小中学校一貫教育や保育料の補助等、子育て支援の攻めの政策に転換し、三笠ジオパークや市立三笠高校食物調理科を立ち上げ、国の地方創生を使って高校レストランを建設中である。時代は常に変化する。時のチャンスを見逃さず、新しい発想と政策でチャレンジする姿勢を私達は学んだ。

種市 正孝 議員

三笠市においての、小学校給食費の無料化助成事業は、医療費助成などを行っている他市町村との差別化、対象者に均等なサービスを、という観点から行われている。子育て支援を進め若い世代の移住・定住を進めるのが目的である。

子育て世帯には、経済的負担が少しでも軽減される事業ではあるが、すでに医療費助成事業を行っている六戸町においては財源確保などの課題や、食育などの観点からの検討が必要となるだろう。

小中一貫教育については、小学校から中学校へのスムーズな移行、特に中1ギャップの解消という点においては、六戸町でも検討しても良いのではないかと感じた。

山本 実 議員

札幌市では若者支援センターと若者活動センターを開設しており、引きこもりやニートと呼ばれる39才以下の若者の相談窓口を設け、必要なサポートを行い社会的自立支援事業を実施している。

また若者活動センターは、町づくり活動やイベント並びにボランティア活動等の情報収集と提供を行い、地域活動に参加しやすい環境をつくっている。

当町においても、このようなことに積極的取り組みなければならぬと考えさせられた。

また前日の11日は三笠市で、学校給食無料化等の子育て支援に対し、積極的に取り組んでいることを学びとることができた。

久田 伸一 議員

北海道おどりの発祥の地である三笠市では、炭鉱閉鎖で人口が激減し、過疎化が進んでおり「地域の特色を生かした教育施策の充実」を目指した小中一貫教育を実施している。小学校から中学校への円滑な接続により、小中合同研修会・相互授業参観・交換授業など特色ある授業を行っており、当町でも工夫を凝らし、もっと教育を充実すべきと思う。

また、給食無料化を実施しており、子育て世代の負担軽減に積極的に取り組んでおり、六戸町でも無料化を検討すべきと思う。



三笠市の取り組みを学ぶ

苫米地 繁雄 議員

北海道三笠市教育委員会を訪ねた。三笠市は子育て世代の負担軽減のため、平成18年度より北海道で初めて給食無料化を実施している。

視察研修によりその実態を把握し、子育て支援の積極的な取り組みについて学ぶことが目的であった。しかし自治体どこでも局面している人口減少の歯止めの施策の数ある中の一つであった。

今回研修でもっとも興味を引いたのは、まちづくりのためにトップから職員、ボランティアの取り組み方まで、その施政に感銘を受けた。



# 地域で自立生活を支える先進地を学ぶ

## 産業民生常任委員会

—北海道函館市・北斗市— 5月10日～11日

産業民生常任委員会では、所管する各分野において福祉関係が最も守備範囲が広く、かつ難しい多くの課題があるとの認識のもと、今年度は函館市及び北斗市の福祉施設で直接現場を視察して学びました。委員の感想をご紹介します。

### 委員長 高坂 茂 議員

1日目のおしまコロニー<sup>ゆづあ</sup>侑愛会は、知的障がい者を対象とした幼児から高齢者までを受け入れる施設群で、広大な敷地にいろんなことに対応できる機能を兼ね備えている。これは、障がい者の暮らしに順応した施設で、ひとつの福祉施設のモデルになるのではと思う。

2日目の<sup>とどほっけ</sup>楳法華高齢者福祉総合センターは、全国でも珍しく、社会福祉協議会が運営している有料の老人施設ということだった。しかしながら、有料でありながら、利用者個々の所得に応じて料金設定しており、利用者に配慮しているのがこの施設の特徴であると感じた。

これらを視察して、今後の福祉に対する取り組みについて、いろんな角度からの視点で物事を考えて行かなければならない重要性を学ばせていただいた。

結論として福祉とは大変であることが肌で感じられた研修だった。

### 下田 敏美 議員

障害者支援施設おしまコロニー侑愛会を見学して感じたことは、障がいを持つ人たちの人権を尊重し、自立させるために、事細やかに支援している状況を視察することができた。

函館市楳法華高齢者福祉総合センターを見学して感じたことは、役所が施設を建設し、管理運営して収支均衡を図るためには、大変な労苦が伴うことが理解できた。民活を利用すべきである。

### 川村 重光 議員

おしまコロニーは、乳幼児から高齢の方々まで各ライフステージに応じて整備され一箇所に集中した施設群である。

障がいを持つ人たちの人権を尊重し、自立と地域に密接した暮らしの在り方、生活の質が高められるように事細やかに支援している。障がいを持った方々のニーズに応じながら機能共同体として日々の暮らしを支えている。

楳法華高齢者福祉センターは、函館市から運営費だけで年間2,900万円、5年をめどに補助されている。施設は立派であるが当町では不可能な事業形態と思われる。



身欠きニシンの木箱を作る工場を視察(おしまコロニー侑愛会にて)

### 副委員長 母良田 昭 議員

おしまコロニーでは、児童から成人、そして高齢者の生活・介護まで一つの場所に施設が集約されていた。障がいを持つ方々が一つの広大な場所で通所あるいは入所されており、変わらない環境の中で生活ができることに感銘を受けた。

函館市楳法華高齢者福祉総合センターは、平成28年4月より生活支援ハウスから、介護有料老人ホームに施設転換している。施設があまりにも立派すぎて、日頃の維持管理費がかかり過ぎること。両施設とも、すばらしい環境に立っており、利用者にとってはこの上ないことかと思う。

### 長根 一男 議員

おしまコロニーは自分らしい生活を見つけることをめざして、地域社会に積極的に参加交流している事業所であった。スタッフは800人で2,000人の障がい者を受け入れ、地域の就業にも貢献していると思う。

また、「とどほっけ介護付有料老人ホームほのぼの」のバブル時代に建設された施設は、大変、高天井で解放感があり、利用者にとって快適な施設であるが、維持経費がかかり、函館市から5年間の期限付きで2,900万円ほどの助成金が出ているとのことだった。

利用者には大変喜ばれているそうだが、施設の運営・維持が厳しく大変だと感じた。

### 円子 徳通 議員

今回、知的障がい施設の研修は初めてだったが、その取り組みは大変多岐にわたっており、何よりも現在、「自閉症」などの利用者が増加傾向にあるということであった。

大切なことは、知的障がいを「病気」としてとらえるのではなくて、「障がい」ととらえ、指導、支援等に従事している関係者の方々の姿には、深く感銘を受けるとともに、多くの方々の意識改革と理解が必要だと感じた。

# 六戸高校の存続求む！

## — 県へ要望書を提出 —

青森県教育委員会は県立高校の再編として、第1期計画案で、13校を閉校し、4校を新設する方針を示しました。このうち、上北地区では、六戸高校、十和田西高校、三

本木農業高校を統合する案が示されました。校舎は三本木農業高校を使用することとしています。六戸高校の再編計画に関わる議会の対応として、6月19日(月) 議会議員

全員協議会を開き、議員全員で協議をしました。協議の結果、六戸高校の存続を要望すること、全員が賛成し、県教育委員会へ要望書を提出することに決定しました。

6月22日(木)に町及び町教育委員会と連名で要望書を提出しました。要旨は次のとおりです。



県教育委員会へ要望する町子議長(右) 吉田町長(左)

### 青森県立六戸高等学校の存続を求める要望書

六戸高等学校は、昭和56年4月7日に開校し、今年で36年目となります。この間、3834名と多くの人材を輩出し、当町においても、多くの卒業生から町発展のために御尽力をいただき、町民の大きな力・支えとなっております。

六戸高等学校が閉校となった場合、当町の子どもたちは長時間の通学を余儀なくされ、保護者の経済的負担が増すこととなります。また、地域経済に与える影響や、地域の担い手の育成にも大きな影響を及ぼし、人口減少に拍車がかかることとなります。地方創生といわれ、地域活性化が至上命題である今日、地域発展の大きな支えである六戸高等学校の存在は地域にとって必要不可欠な財産であります。

つきましては、小規模校のメリットや特性を重視していただき、画一的で早急な統廃合計画を推し進めることのないように、地域のバランスや生徒の通学環境などを考慮して、六戸高等学校をぜひとも存続させていただくよう強く要望いたします。

### 議会のうごき (29年3月～5月)

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>5月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10日 産業民生常任委員会 県外研修(～11日)</li> <li>8日 町戦没者追悼式</li> </ul> | <p><b>4月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2日 町消防第5分団入魂式</li> <li>3日 産業民生常任委員会</li> <li>4日 総務常任委員会</li> <li>6日 交通安全祈願</li> <li>12日 議会広報委員会</li> <li>13日 町体育協会総会</li> <li>14日 教育講演会</li> <li>22日 館野公園山開き</li> <li>24日 産業民生常任委員会</li> <li>25日 総務常任委員会</li> </ul>  | <p><b>3月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3日 第1回六戸町議会定例会(～9日)</li> <li>7日 予算特別委員会(一般会計)</li> <li>8日 予算特別委員会(特別会計)</li> <li>8日 議会広報委員会</li> <li>14日 議会基本条例検証(議員研修)</li> <li>15日 総務常任委員会</li> <li>28日 議会広報委員会</li> </ul>          |
| <p><b>31日</b> 全国議長・副議長研修会</p>   | <p><b>30日</b> 町商工会通常総会</p> <p><b>26日</b> 議会運営委員会 結団式</p> <p><b>25日</b> *上北郡総合体育大会 シルバー人材センター 一定時総会</p> <p><b>24日</b> *上北郡町村議会議長 会定例会</p> <p><b>24日</b> *県議長会定期総会</p> <p><b>24日</b> *グラウンド・ゴルフ 交流会</p> <p><b>23日</b> 議会基本条例検証</p> <p><b>23日</b> 全員協議会</p> <p><b>23日</b> 政視察の受け入れ</p> <p><b>12日</b> 北海道北斗市ほか) 岐阜県可児市議会発行</p> | <p><b>24日</b> 町交通安全協会定時総会</p> <p><b>24日</b> *県議長会定期総会</p> <p><b>25日</b> *グラウンド・ゴルフ 交流会</p> <p><b>26日</b> 議会運営委員会 結団式</p> <p><b>26日</b> 議会基本条例検証</p> <p><b>23日</b> 全員協議会</p> <p><b>23日</b> 政視察の受け入れ</p> <p><b>12日</b> 北海道北斗市ほか) 岐阜県可児市議会発行</p> |



全国議長・副議長研修

\*印は議長のみ出席

# 町側との話し合い、あれこれ

5月23日（火）、議会議員全員協議会が開催され、町側と次の項目について協議しました。

## ○ 小松ヶ丘地区下水道処理施設整備について

小松ヶ丘地区の下水道処理施設は昭和52年に供用開始され、現在稼働し



現在稼働している  
小松ヶ丘地区の下水道処理場



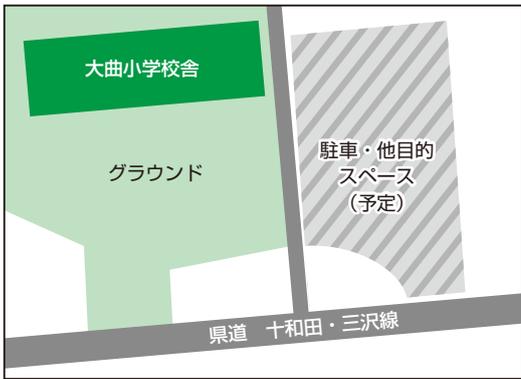
ている処理場も25年が経過し、改修が必要となった。

改修案は3つあり、①既存処理場の改良②新規処理場の建設③流域、下水道への接続、であるが、現在は県とも協議をしながら検討をしているとのこと。決定次第、報告を受けることとなった。

## ○ 大曲小学校の環境整備について

大曲小学校の児童が大幅に増加し、学校用地も手狭になったため、駐車場及び多面的な学校活動用地を拡大したいとの説明を受けた。

用地拡大の内訳として、教職員や学校行事での来客や保護者の駐車スペース140台分。スクールバスレーンのスペース4台分。児童がスクールバスレーンから安全に学校に登校できるように歩行



者と車輛の動線を分けた道路スペース、であった。

なお、用地取得については、地権者に町の意向を伝えて理解もいただいているとのこと。

これからの動きとして、6月議会で議決できれば、本格的な用地交渉を始める。

※6月議会にて、平成29年度六戸町一般会計補正予算が上程され、全員賛成で可決された。(4ページ参照)

### お詫びと訂正

ろくのへ議会だより92号(平成29年4月21日号)の5ページ下段に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。  
誤)馬淵 光香 正)馬淵 光花

議会を傍聴してみませんか?

Let's Go!!



役場内の階段で4階へ。



これからの町のことを話し合う場、それが議場です。どんなことを審議するのか、傍聴してみませんか?



傍聴受付で記入したら、入場できます。



傍聴席からはこんな感じですよ。



本会議中は1階のロビーのテレビでも中継しています。



席は自由席です。バリアフリーに対応となっています。

# 町民の声

さまざまな分野で  
がんばっている人

町民の皆さんが、さまざまな分野でがんばっています。  
今回は、マイケル・ロンバーデイさんにお話を伺いました。



## マイケル・ロンバーデイさん

プロフィール

アメリカ合衆国メイン州キタリー町出身。15歳の時に「おいらせ町・六戸町中学生海外派遣」がきっかけで初来日。その後、国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」の青少年交換留学に応募。昨年8月に、おいらせロータリークラブがスポンサーになり、六戸高校に留学。今年6月に帰国。趣味はギター、料理など。19歳。

### 日本に暮らしてみても

六戸に滞在した3家族のホストファミリーにはいろんなことを教えてもらいました。マージャンを教えてもらったり、米屋さんや農家の仕事を見せてもらったり、いろんな暮らしを体験できてよかったです。日本の有名な観光地にも連れてってもらいました。

### 原爆ドームで感じたこと

瀬戸内海のしまなみ海道を自転車で70キロのツーリングをしたことと、広島島の原爆ドームを見たことは印象に残りました。特に広島では、たくさんの方が亡くなり、本当にひどいことだと気づきました。日本にいたことで得られた貴重な経験だと思います。

### 六戸秋まつりが一番

六戸の一番の思い出は、秋まつりに参加できたことです。太鼓の練習を通して、みんなと話せたのがうれしかったです。あと、熊野神社から着物を借りて、刀を差して、侍の格好もできま

した。六戸高校の流し踊りにも参加しました。キタリー町にも祭りがあります。六戸みたいに、みんな協力して祭りをやる訳ではないので、そこも違うなと感じました。

### 歴史に触れた修学旅行

学校生活では修学旅行がとても楽しかったです。京都や大阪に行きましたが、教科書に載っている寺や、日本の歴史を実際に見ることができて感動しました。

### ギターと六戸の交流で

私は、キタリー町と六戸町の交流がきっかけで日本に来ました。私が帰国しても次の人が留学や交流を深

めてほしいし、こういう関係がずっと続けばいいなと思います。

### 平和ってすばらしい

帰国して、大学に進学しますが、日本語を続けて学ぶ予定です。将来、日本に関係した職業に就きたいと思っています。

昔、日本とアメリカは敵同士でしたが、今、こうして日本にいて、話をしている。すごいことだなと本当に思います。平和ってすばらしいです。六戸の皆さんも優しくしてくれて、本当にありがとうございます。

（聞き手 杉山委員長  
種市副委員長）

### マイケルさん、お元気で！



6月12日、六戸高校でお別れ会が行われました。マイケルさんはギターを片手に日本語で自作した歌を披露。みんなで別れを惜しみました。

### 編集後記

5月の田植えが盛んに行われているとき、熊の目撃情報が防災無線にて放送されました。一瞬わが耳を疑ったのですが、その事実が証明されたのです。我が家の近くの畑にその熊の足跡がくっきりと印されていました。

昨年来、熊に人命を奪われるという痛ましい事故が多発し、それでも人里離れたわが地域までは、まさかと思っていました。早速、警察・行政が一体となって、熊の捕獲作戦を展開していますが、未だ捕獲の成果が聞かされていません。

わが地区の開知小学校では、安全のため、児童の送迎は保護者が行っています。が、どのような結末になるのか、早く収束してもらいたいものです。

広報委員 高坂 茂

### 議会広報委員会

- 委員長 杉山 茂夫
- 副委員長 種市 正孝
- 委員 河野 重光
- 川村 重光
- 高坂 重光
- 長根 一男
- 発行責任者 長 円子 徳通